

主催サッカー大会開催ガイドライン（お客様向け）【第2版】

2020年7月15日

（改訂）2021年10月1日

スポーツマネジメント株式会社

ガイドライン全体について

【目的と構成】

- 本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の予防及び対策を講じることで、お客様に少しでも安心してご参加いただくと同時に、スポーツ施設従業員、宿泊施設従業員、弊社従業員およびスタッフが安全にサッカー大会を運営することを目的に策定しました。笑顔溢れるサッカー大会の再構築に全力を尽くします。
- 本ガイドラインは、主催大会開催にあたり新型コロナウイルス感染症の予防及び対策について、厚生労働省、日本サッカー協会、全国旅行業協会の各種ガイドラインを基に作成し、「主催者の取り組み」と「お客様へのお願い」を記載しています。
- 本ガイドラインは、感染拡大状況にあわせて内容は更新、撤廃します。

【要旨】

- 政府や開催地自治体の方針に従ったサッカー大会を企画します。
- 飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべり）や接触感染（手で触れること）を予防する対策を講じます。
- 3つの密（密閉、密接、密集）を避けた環境づくり、手洗い咳エチケットを励行します。
- 弊社および運営従業員、スポーツ施設従業員、宿泊施設従業員、お客様等すべてに感染予防対策を要請するとともに、感染陽性者、濃厚接触者、感染が疑われる症状の方の勤務または参加をお断りします。
- 開催期間中に、感染が疑われる症状が発生した場合は、該当者を隔離・観察し管轄の相談窓口へ連絡のうえ、指示に従います。該当者の状況により、参加チームの行程は協議のうえ決定します。
- 開催期間中に、感染陽性者が出た場合や開催地自治体からの要請があった場合、大会を中止する場合があります。

【感染が疑われる症状】

- (1) 37.5℃以上の発熱
- (2) 咳、喉の痛み
- (3) 強い倦怠感（だるさ）
- (4) 味覚嗅覚の異常
- (5) 家族が陽性である、または濃厚接触者である
- (6) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察移管を必要とされている国や地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※感染の疑いは総合的に判断します。

主催者の取り組み

【大会開催にあたり】

- 弊社従業員は、大会開催時に限らず毎日の検温・体調確認を実施し、手洗い消毒・マスク着用・社会的距離の確保など感染予防対策を講じております。
- 大会開催時は、弊社従業員で感染陽性者、濃厚接触者、感染が疑われる症状のある者は運営しません。また、万が一期間中に感染が疑われる症状が発生した場合、代替要員を手配します。
- 審判等の運営スタッフにおいては、お客様同様大会4日前からの検温・体調確認を実施し、感染が疑われる症状がある場合は勤務せず、代替要員を手配します。
- 発熱等の風邪症状や味覚・臭覚障害が起きたスタッフは、発症後8日以上経過しており、且つ薬剤を服用していない状態で解熱並びに症状が消失して3日以上経過するまで、大会運営に参加しません。
- 利用するスポーツ施設や宿泊施設・旅館組合とは、感染症予防の対策、受け入れ体制について十分相談・協議します。

【スポーツ施設利用にあたり】

- スポーツ施設スタッフの検温・体調管理、感染陽性者、濃厚接触者、感染が疑われる症状がある場合は勤務せず、代替要員を手配することを要請します。また、手洗い消毒・マスク着用・社会的距離の確保など感染予防対策を講じることも要請します。
- スポーツ施設には、ハンドソープ、アルコール消毒液を設置します。
- 不特定多数の人が共用する場所、備品をアルコール消毒します。
- クラブハウス・更衣室等室内スペースを利用する場合、ドアや窓を開放し換気を行います。

【大会運営にあたり】

- 大会本部での受付は、換気の悪い場所で対面する場合、ビニールシート等で遮蔽し、必要に応じ手袋を利用します。
- 開会式・代表者会議・閉会式は、時間短縮の上、密にならない工夫をして行います。
- 競技規則（ルール）を柔軟化し、各大会で定めます。
- 施設への入口や大会本部にアルコール消毒液を設置し、水道にはハンドソープを設置します。

【宿泊施設利用にあたり】

- 宿泊施設スタッフの検温・体調管理、感染陽性者、濃厚接触者、感染が疑われる症状がある場合は勤務せず、代替要員を手配することを要請します。また、手洗い消毒・マスク着用・社会的距離の確保など感染予防対策を講じることも要請します。
- 宿泊施設には、施設内のハンドソープ設置やアルコール消毒液の設置、施設内の換気、共用部（ロビー、食堂、風呂、送迎バス等）や客室内備品等の定期的な消毒などの衛生管理を要請します。
- 客室の部屋割りは、できるだけ1名3畳以上を要請しますが、宿事情にあわせ個別対応とします。
- 食事会場では、アクリル板設置や非対面着席などの飛沫防止対策、盛り付け、配膳・下膳方法の工夫、時間制限や人数制限などを要請します。
- バイキング形式や食事の取り分けは、使い捨て手袋の利用など対策を促します。必ずマスクをして会話はお控えください。
- 必要に応じて風呂での人数制限や時間制限などの対策を要請します。
- 送迎バス利用時は、乗車時のアルコール消毒、乗車中のマスク着用の徹底、換気励行を要請します。

【大会終了後】

- 大会終了後2週間以内に感染が疑わしい症状が発生した場合、必要に応じ参加者に情報を開示します。
- 宿泊者名簿兼健康チェック表は最低1か月間保管し、連絡がとれる状態を維持します。

【感染が疑われる症状が発生した場合】

- 大会期間中に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が発生した場合は以下の対応をとります。
 - (1) 大会主催者および宿泊先にその旨を伝え、症状がある方を隔離します
 - (2) 医療機関には受診せず、各都道府県設置の「相談窓口」または「帰国者・接触者相談センター」に連絡し、指示を仰ぎます
 - (3) 相談窓口の指示に従い、個人に帰宅を促します
 - (4) 相談窓口から感染可能性が高いと判断された際は、そのチームは一時出場停止とします
 - (5) 陽性者が発生した場合は、状況に応じて大会を途中で中止する場合もございます
 - (6) 各事象発生時の情報閲覧は主催者や相談機関等に限定し、必要に応じ個人情報をも伏せた形で参加チーム代表者、利用スポーツ施設、宿泊施設に開示します

お客様へのお願い

【参加申し込みにあたり】

- チーム内に感染対策責任者を設置し、事前・事後を含めて「主催者から責任者」「責任者から参加者（保護者）」が迅速に連携を取れるようにお願いします。責任者は陽性者を出さない為のチェックや管理を行ってください。
- 大会初日に、4日前からの検温と体調を記録した「健康チェック表」の提出をお願いします。チーム内で感染拡大責任者を定めていただき対策をお願いします。1 Day 大会も同様です。
発熱等の風邪症状や味覚・臭覚障害が起きた方は、発症後8日以上経過しており、且つ薬剤を服用していない状態で解熱並びに症状が消失して3日以上経過するまで、大会参加することが出来ません。
- 感染が疑われる症状がある方の参加は勇気をもって見合わせて下さい。本人（または同居の家族）が感染陽性者、濃厚接触者、感染が疑わしい症状のある方、2週間以内の渡航歴のある方は参加をお断りする場合があります。
- チーム内に体調不良者が出た場合
 - (1) 体調不良者が発症の48時間以内の活動に参加していた際や、メンバーとの接触が考えられる際は、チーム活動を最低2日間行わないことを推奨します
 - (2) 48時間以上接触が無いといえる際は、他に体調不良者が存在しないことを確認の上で大会への参加が可能となります
 - (3) 止むを得ず大会参加を取りやめる際、チーム内、チーム関係者、保護者等の間での誹謗中傷の防止に努めてください
- キャンセル料の規程は別途大会ごとに定めるキャンセル料規程を参照下さい。
- 宴会や飲み会はお断りします。
- 原則、参加者（選手・スタッフ等）以外の来場については、感染拡大状況、地域や施設の事情に合わせ、大会ごとに決定します。
- 社会情勢や、開催地自治体からの要請、開催期間中の感染陽性者の発出などにより、感染拡大が危惧される場合は主催者側で大会中止の判断をすることがあります。
- どれだけ対策をしても感染リスクをゼロに抑えることは出来ません。
感染リスクをご理解いただいた上で、お申し込みをお願いします。

【スポーツ施設利用にあたり】

- すべてのシーンで以下の行動をお願いします。
 - (1) 感染が疑われる症状がある方の利用は勇気をもって見合わせて下さい
 - (2) 握手、抱擁などは行わないで下さい
 - (3) 社会的距離（2m。最低 1m）を確保して下さい
 - (4) マスクを着用して下さい（プレー中の選手等を除く）
 - (5) 手洗い、手指消毒をこまめに行ってください
- スポーツ施設への移動は、不特定多数の人との接触の少ない方法を選択し、出発前の検温、マスク着用で会話を控え、車内の換気を積極的に行ってください。
- クラブハウス・更衣室等屋内スペースの利用を制限する場合があります。利用可能な場合は、会場のルールを守って利用し、大勢の人が一堂に介さないように工夫して下さい。
- 屋外の待機スペースは、他チームや自チーム内での社会的距離にご留意ください。会場により主催者側で指定する場合があります。各チームでのテント等の準備にご協力をお願いします。
- 飲食は極力屋外で行い、飛沫防止を心掛けて下さい。

【競技の前後】

- 選手以外のスタッフは常時マスクを着用し、社会的距離を保つようお願いします。
- 主審は試合中マスクを着用しません。副審は試合中マスクをしても構いません。
- メンバーチェックの際は、社会的距離を取るよう心掛けて下さい。
- 試合前後または、試合中に関わらず握手、ハイタッチ、抱擁等を行わないようお願いします。入退場に関しては担当レフェリーの指示に従ってください。歓喜のシーンも同様です。グータッチ、肘タッチは容認します。
- 試合終了後は横一列に整列して礼をします。相手チームへの挨拶は行わず、自チームベンチへ戻ってください。
- チームベンチでも社会的距離を保ち、不要な会話・接触・声を出した応援は控えて下さい。
- 飲水ボトルの共用をせず、個人で用意したものを利用して下さい。
- 主審の笛、副審フラッグ、ビブスの貸し出しは原則行いません。
- チーム内でのユニフォーム、すね当て、シューズ等個人備品の貸し借りも無いよう、各自でご用意下さい。
- 唾吐き行為はしないで下さい。

【宿泊施設利用にあたり】

- すべてのシーンで以下の行動をお願いします。
 - (1) 設備や備品などへの不必要な接触は避けて下さい
 - (2) 社会的距離（2m。最低 1m）を確保して下さい
 - (3) マスクを着用して下さい（食事、入浴を除く）
 - (4) 手洗い、手指消毒をこまめに行ってください
 - (5) 室内の換気にご協力下さい
- ロビー、フロント、大浴場、ランドリー、送迎バスなど共用部で大声での会話は避けて下さい。
- 必ず起床時に検温を行い、チーム内の感染対策責任者が健康状態を把握しておいてください。健康状態に不安がある際は必ずお申し出ください。
- 宿泊施設により宿泊者名簿の提出を求められた際は、宿泊施設の指示に従いご提出ください。
- 旅館の客室は 1 名 3 畳を目安に部屋割りを依頼します。
(大部屋利用時や畳の大きさの違いなどで判断が異なりますので、適宜安全を考慮して調整します。)
- 共用備品は減らしておりますので、タオルやアメニティ類はお客様でご用意下さい。
- 食事・食堂利用時は特に気をつけていただき、以下ご協力をお願いします。
 - (1) 食事開始まではマスクを着用し、食事が終了したら再び着用して下さい

- (2) 食堂入場時、食事終了後に改めて手洗いまたは手指消毒をして下さい
- (3) 食堂内の席のレイアウトは施設の指示に従い、互いに工夫をして下さい
- (4) 食堂利用の人数や時間の制限を設ける場合がありますので指示に従って下さい
- (5) 配膳は担当者を決め、手指消毒のうえ、マスク・手袋を着用し会話せずに配膳して下さい
- (6) 食事中は会話をせず、黙食を心掛けて下さい。

- 感染拡大を助長する大人数での宴会や飲み会はお断りします。
- 大浴場で口をゆすぎ吐き出す行為はしないで下さい。
- 宿泊中に感染が疑わしい症状が発症した方は、宿泊施設・大会主催者に報告下さい。

【自宅帰宅後】

- 大会終了後2週間以内に感染が疑わしい症状が発生した場合は、主催者にご報告下さい。